



人権だより

親子で本の世界を楽しもう



ピノキオ（絵本の部屋）に「きらきら文庫」というコーナーを設置しています。保護者の方に手に取っていただきたい人権・同和教育に関する本をこちらに集めています。登降園時にぜひ手に取ってみてください。借りたい本がある方は、貸し出し表に記入してください。



かりるとき

「きらきら文庫 貸し出し表」に、**かりた日・タイトル・なまえ**を書きましょう。

かえすとき

「きらきら文庫 貸し出し表」に、**かえした日**を書きましょう。
本をかりたところに戻しましょう。



おすすめの本の紹介をします

人権教育の視点で読んでみると… いろいろと感じ・考える…



自分の「当たり前」を見つめ直して

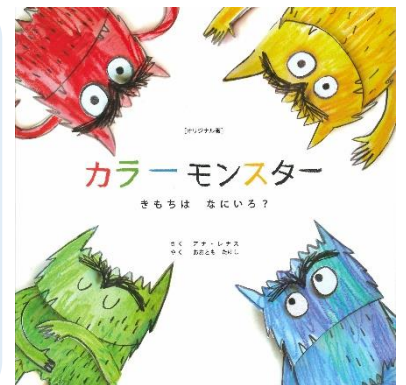
後に女性初の軍医として活躍し、フェミニストとして知られたメアリー・E・ウォーカーの幼い日を描いています。

今から約 150 年前、女の子の服装は窮屈なドレスだけ。それが、「当たり前」だったのですが、メアリーはそれに疑問を感じるのです。ズボンをはくことで、「自分の着たい服を着る」ことを訴えたメアリー。常識だと思っていたことが、常識ではない時代があった。道を切り開いてくれた人がいた。自分たちにとっての「当たり前」を見つめ直すきっかけになる絵本です。

あなたはいま、自分がどんな気持ちか、わかっている？

全世界で600万部を突破している「カラーモンスター」シリーズの第1作目の絵本です。主役の『カラーモンスター』は気持ちによって色が変化するキャラクターで、子どもにも気持ちの変化が分かりやすく伝わります。

登場する感情は5つ。うれしい、かなしい、おだやか、ふあん、いかり… あなたにとっての嬉しい気持ちはどんなとき？と子どもと一緒に考えながら様々な気持ちを色分けし、その色をそれぞれの入れ物に入れる作業、簡単だけどとても大事なこの「気持ちの整理」という作業は、子どもだけでなく大人にとっても大切なことだと感じます。



大人として知っておきたい 自分のために 子どもたちのために



子どももひとりの「ひと」

タイトルは難しそうに感じますが、読み進めると、親しみやすいエピソードも綴られていて読みやすいです。特に、『子どもの「ちから」や「権利」を認めることは、自分自身の子ども時代を癒すことにつながる』という説が心に響きます。

じぶんらしさって なに？

「オトコノコなのにプリンセスをすきなのは、へん？」
「オナノコらしくって、なに？」
子どもと一緒に考えたいジェンダー・セクシュアリティにまつわる36の質問に助産師／性教育 YouTuber として活躍するシオリヌさんが分かりやすく答えてくれます。

